

研究会 「京大炉(KUR)を用いた放射化分析の成果と今後の展望-2-

日時：2017年1月18日（水）10:00 – 17:00 頃

場所：京都大学原子炉実験所事務棟大会議室

10:00 はじめに **海老原充**

座長 大浦泰嗣

10:05 KUR を用いた中性子放射化分析の高精度化の現状と今後 **三浦 勉**（産総研）

10:25 放射化分析を用いた半導体評価用認証標準物質の開発 **高塚登志子**（産総研）

10:50 環境放射能核種の放射化分析のニーズ **蓼沼 克嘉**（株化研）

11:10 インパクトガラス中の親鉄性元素による隕石成分の探索 **白井直樹**（首都大学東京）

11:35 放射化量評価のための基礎的検討 **木下哲一**（清水建設）

11:55 – 13:00 昼食

座長 松尾基之

13:00 ArAr 年代測定を用いた海洋プレート沈み込み開始と島弧創成メカニズムの解明 **石塚 治**（産総研）

13:20 はやぶさ2プロジェクトについて **岡崎隆司**（九州大学）

13:45 Neutron activation analysis at Egypt Second Research Reactor **Mohamed Soliman** (Egypt second research reactor, Atomic Energy Authority)

14:35 ジルコンの微量化学成分から消滅後背地をさぐる（研究計画） **田中 剛**（名古屋大学）

14:55 – 15:10 休憩

座長 大槻勤

15:10 テルライトガラス中の Zn, Te の定量 **鹿野弘二**（函館高専）

15:30 負ミュオンを用いた定量的な元素分析に向けた基礎研究 **二宮和彦**（大阪大学）

15:50 FNCA/NAA プロジェクトの進捗概況&その他 **海老原充**（首都大学東京）

おわりに **大槻勤**